

小舞木町 生きがいサークル

(高齢者の居場所づくり事業)

団体名 小舞木町
高齢者の居場所づくり委員会

発表者 北島 淳孝

発表内容

1. 設立の経緯
2. 団体の概要
3. 活動の経緯
4. 平成28年度の活動結果
5. 平成29年度の活動指針
6. 平成29年度の活動状況
7. 活動の効果
8. これからの進め方

設立の経緯

平成27年度「1%まちづくり会議」の提案

居場所だらけの太田市

(めざそう・健康寿命いきいきおおた)

平成28年度から「高齢者等の居場所づくり」
のテーマで募集開始

これを機に、九合地区から西矢島町・新島町
小舞木町の3地区が応募した

設立の経緯

居場所だらけの太田市

めざそう・健康寿命いきいきおた



1%まちづくり会議

団体の概要

名称

小舞木町 高齢者の居場所づくり委員会

構成

区長・区長代理・評議員	21名	計 50名
長寿会役員	4名	
婦人会役員	4名	
更生保護女性会	10名	
あいの会	10名	
町内賛同者	1名	

活動の経緯(活動方針の決定)

活動方針

1. 居場所づくり委員会に参加の各団体が
月1回以上の活動を行う
2. 活動の中心は小舞木町集会所とする
3. 参加者は町内回覧等で募集する
4. 開始の準備は町内役員が行う
 - ① 「1%まちづくり事業」の申請
 - ② 運営方法と備品の準備

活動の経緯(活動内容の模索)

従来実施

いきいきサロン
(ボランティア主体)

踊りの練習
(参加者主体)

新規

囲碁・将棋・麻雀

絵手紙・塗り絵・折り紙

カラオケ

編み物・手芸

映画鑑賞

かるた・百人一首

茶話会
(役員補助)

内容未定でも茶話会としてスタートする

活動の経緯(太田市からの補助金)

1. 備品購入費 50,000円
(1団体 1回)
2. 使用料及び賃貸料 30,000円
(年間の光・熱・水代含む)
3. 消耗品費 20,000円
(年間目安)
4. コミュニティ経費 50,000円
(年間最大 飲み物・菓子代 $200\text{円} \times \text{参加人数}$)

活動の経緯(備品等の準備)

茶話会で手軽に楽しめるものとして

- ・塗り絵の本と色鉛筆
- ・折り紙と折り方の本
- ・上毛かるた、百人一首



また趣味の会やお楽しみ会として

- ・麻雀、囲碁、将棋等の用具
- ・カラオケ、映画鑑賞等の備品

などを準備しました。



活動の経緯(活動開始)

高齢者の居場所づくりとして下記の内容と担当で当初の活動を開始しました。(月・木・土の週3回)

曜日	週	活動内容	担当
月	1・3 2・4	踊りの練習 茶話会でスタート	長寿会 〃
木	1・3 2 4	茶話会でスタート 〃 〃	婦人会 あいの会 更生保護女性会
土	1・3 2・4	趣味の会(麻雀・囲碁・将棋等) お楽しみ会(カラオケ・映画鑑賞等)	町内役員 〃

町内役員(区長・区長代理・評議員)

平成28年度の活動結果

平成28年度は下記内容で延べ1,740時間活動し、参加人数は述べ550名となりました。

曜日	週	活動内容	活動時間と人数
月	1・3	踊りの練習	500時間・170名
	2・4	茶話会(手芸・他)	400時間・130名
木	1・3	茶話会(絵手紙・水彩画等)	200時間・ 70名
	2・4	〃 (編み物・他)	220時間・ 70名
土	1・3	趣味の会(麻雀・囲碁・将棋等)	240時間・ 60名
	2・4	お楽しみ会(カラオケ・映画鑑賞等)	180時間・ 50名

平成29年度の活動指針(名称変更)

平成28年度

「高齢者の居場所づくり」

団体役員を中心に活動



平成29年度

「生きがいサークル」

参加者中心の自主的な活動

平成29年度の活動指針(活動日程)

生きがいサークルとして下記の内容と補助担当で当初の活動を開始しました。(月に9回)

曜日	週	活動内容	補助担当
月	1・3	踊りの練習(小舞木K7スカイブルー) 手芸と茶話会	
	2・4		
木	1	絵手紙・水彩画	更生保護女性会
	2	グラウンドゴルフと茶話会	
	4	茶話会(映画鑑賞等)	
土	1・3	趣味の会(麻雀・囲碁・将棋等)	町内役員

平成29年度の活動状況

踊りの練習（小舞木町K7 スカイブルー）

活動日 第1, 3月曜日

半年間の活動

活動数	12回
延べ参加者	140名
各種行事参加	5回



会員数 15名



平成29年度の活動状況

手芸・編み物・茶話会

活動日 第2, 4月曜日

会員数 16名

7月23日の読売新聞



半年間の活動

活動数 12回

延べ参加者 100名

高齡者仲間 手芸楽しく

◆太田◆ 小舞木町の集会所で、毎月第2、第4月曜日に手芸品を作って楽しんでるグループがある。近くの岡部昌子さん(77)が講師を務め、高齢者約15人が参加している。

グループは、高齢者の居場所作りを目的に作られた。岡部さんが昨年、近所の人に靴下カバーを編んであげたところ、「編み方を教えて」と言われたのが始まりだった。その日に作るものは、岡部さんが材料を用意し、縫える状態にカッ

トして参加者に手渡される。これまで、スイカやメロンを形をした小型ボーチやパッチワークの小物入れ、アクリルタワシなどを作ってきた。

岡部さんは「高齢者が、お金をかけずに楽しく集まれる場所になればうれしい」と言う。参加者の柿沼節子さん(78)は「こういう場所を作ってもらってよかった。ほかの人と交流もできるので楽しい」と話していた。

(成田裕美子)

平成29年度の活動状況

絵手紙・水彩画

会員数 9名

活動日 第1木曜日

半年間の活動

活動数 6回

延べ参加者 30名



平成29年度の活動状況

グラウンドゴルフと茶話会

活動日 第2木曜日

会員数 30名

半年間の活動

活動数 6回

述べ参加者 90名



平成29年度の活動状況

趣味の会

活動日 第1, 3土曜日

半年間の活動

活動数 10回

延べ参加者 50名



囲碁

麻雀



平成29年度の活動状況

茶話会

活動日 第4木曜日



映画鑑賞

半年間の活動
活動数 6回
延べ参加者 50名

編み物



活動の効果

初年度の最初は役員が準備をして参加を呼び掛ける活動であったが、徐々に参加者が自主的にグループを作って活動するようになり、今年度は参加者主体のサークル活動として再スタートができました。

地域の交流の場として、生きがいの持てる生活の手助けができたと考えています。

これからの進め方

従来から実施しているボランティア主体による「いきいきサロン」と並行して、参加者主体による「生きがいサークル」が、今後も継続して活動できるよう、補助が必要なグループを支援していきます。

また、各グループの参加者が増加するよう町内へのPR活動もさらに進め、より多くの方々に参加を促していきたいと思います。

なお、近隣地区との連携も考えていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました

小舞木町
高齢者の居場所づくり委員会